

皆様あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。年明け早々に能登地方の地震、羽田での航空機事故など、災害の多発する年明けとなりましたが、今年が皆様に幸せな毎日が訪れることを祈っています。

各施設の動向

令和6年のチェリーハウスでは、第1チェリーハウス5名、第2チェリーハウス6名の入居でスタートしました。年末には年越しそば、年始には簡単なおせち料理を提供し、皆さんに喜んでいただきました。年末年始は、ご自宅に帰省してご家族と一緒に年を越されたり、グループホームに残って静かに年を越されたりと、それぞれに過ごされたようでした。今月は男性1名、女性1名の体験利用の申し込みがあり、益々にぎやかになりそうです。実際にグループホームを体験していただき、どんな生活なのかを実感していただければと思います。

ショートステイでは、毎月レギュラーで利用される方が数名いらっしゃいます。一方1年ぶりに利用される方もおられ、その方なりのペースで利用していただいています。

単身サポート事業は、昨年末には登録者がいらっしゃらない時がいつかありましたが、今年は4~5名の登録者が見込まれています。一人暮らしに向けてアパート探しや様々な手続きなど、一緒に動いて行きたいと考えています。

支援センターあさがおでは、創作活動を中心としたプログラムが人気です。12月には区の事業を利用し、上野の森美術館より講師の先生を招いたワークショップを行い大好評でした。定員いっぱいの参加者の方たちは、先生から書道と、墨を使って絵を描くという書画を教えて頂き、皆さん、素晴らしい作品を作られました。運用に関しては長期的な観点から、利用者の皆さんが使いやすいように、あさがお見学から体験、利用登録までの流れを見直し、もっと迅速にことが運ぶようにします。今までは利用希望者のニーズを丁寧に聞いたり本人の現況を詳しく把握するために、時間がかかりすぎていたようです。時間がかかることで利用する意欲がなくなることが心配でした。これからも手際良く、タイムリーにニーズをとらえ、本人に即した支援が適切に行えるように工夫をします。相談支援業務に関しては、ケアマネジメントを希望する人は多いのですが、ヘルパーさんを紹介していただく事業所の数が減ってきていることが悩みです。そのためにサービスは入るまで時間がかかっています。介護保険でもヘルパーさんの数が少なくなっていることが問題になっていますが、これは社会全体で考えていくべき課題でしょう。

会費納入のお願い

令和5年度の会員年会費や賛助会費が未納の方には、郵便振替用紙が同封してあります。恐れ入りますが3月末までにお支払いただきますようお願い申し上げます。なお、すでに納入された方はご容赦下さい。

団体会費 12,000円

個人年会費 6,000円

賛助会費 2,000円